まちの話題

伝建地区内の掲示物を考えましょう

伝建地区内には、せいろミュージアムや釣り行灯など多数の掲示物が存在します。湯浅を訪れる方から「まちおこしで見習いたい取り組みですね」などの声が聞かれることもありますが、その多くは経年劣化や風雨によって傷み、メンテナンスがされていない状態です。また、額に入った絵や写真などが無秩序に増えており、このまま放置していてはいけないのではないかという問題提起があり、保存協議会のまちなみ整備部会で話し合われました。これを機に伝建地区内の掲示物について皆さんと考えていきたいと思います。

～伝建地区内の掲示物内訳～

	せいろミュージアム	釣り行灯	辻行灯	その他（額縁等）	合　計
北　町	２３	３６	２	２２	８３
北鍛冶町	１４	８	１	３２	５５
北中町	５	４	３	１８	３０
北浜町	１０	２１	０	５	３６
合　計	５２	６９	６	７７	２０４

傷みが目立つせいろミュージアムや釣り行灯

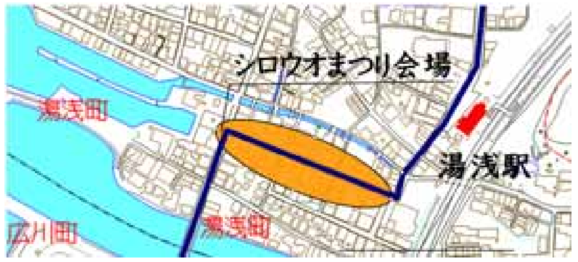
その他（額縁等）

紀州湯浅のシロウオまつりが開催されます

湯浅に春の訪れを告げる「紀州湯浅のシロウオまつり」が、下記日程で行われます。シロウオのおどり食い体験やフリーマーケットなどもありますので、みんなで一緒に楽しみましょう。

◆開催日時：３月１８日（日）１０時００分～１４時００分

◆開催場所：島之内商店街周辺



湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思います。ご意見・ご要望などございましたら、右記編集委員まで連絡をお願いします。

【編集委員】
楠山　吉雄
半邊　宗五
妻木　禎子
齋藤　春太郎(特別委員)

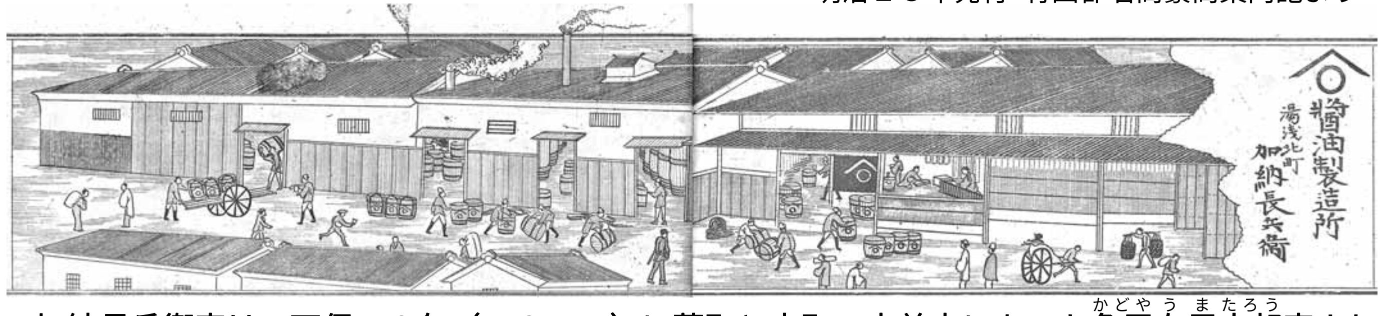
まちなみ瓦版

■平成２４年３月１日
■第１０号
■発行：湯浅伝建地区保存協議会
■発行責任者：木下　智之

伝統的建造物の歴史（４）

湯浅は、醤油発祥の地として広く知られており、平成１８年（２００６）には全国初の醤油の醸造町として、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されるなど、湯浅を語る上で醤油はなくてはならないものです。今回は、今もなお江戸時代から変わらぬ伝統的な製法で醸造を続ける北町の加納長兵衛家をご紹介します。

明治１８年発行 有田郡名商豪商案内記より



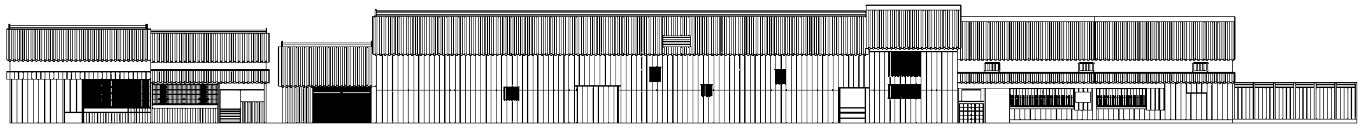
加納長兵衛家は、天保１２年（１８４１）に蔵町と中町の交差点にあった角屋右馬太郎（かどやうまたろう）家より暖簾（のれん）分けされ、現在の地で創業しました。屋号は「角長（カドチョウ）」と称します。

敷地は、道路を挟んで３ヶ所におよびます。北町通りの北側には、主屋のほかに、仕込蔵や室（むろ）などの醤油の醸造に関わる建物がところ狭しと並んでいます。醤油施設はすべて現役であり、薄暗い蔵の中に仕込桶が静かに整然と並ぶさまは神秘的です。蔵の２階は、かつて男衆が生活する場所でした。主屋の背後には、座敷や中庭を挟んでの隠居所などの離れが建ちます。一方、南側の屋敷地は浜町通りにより東西にわかれます。西側は樽蔵と原材料や包装品の格納場であり、東側は雑蔵（ざつくら）があり、元の仕込蔵は醤油醸造用具を展示する「湯浅醤油職人蔵」として活用されています。ここに展示されている醸造用具は、湯浅町指定の有形民俗文化財でもあります。

加納長兵衛家

醤油醸造用具

建物は、増改築を繰り返しながら現在に至っていますが、屋根や庇は、見える所に古い瓦を使い、新しい格子や腰壁も伝統的な意匠を意識しています。これらは、景観に配慮した改修の好例で、町並み保存の先駆的な役割を果たしてきたと言えます。大仙堀に面した角長の一画は、醤油醸造で栄えた湯浅の歴史的景観を最も良好に保持しており、今後の町並み整備を進めていく上でも重要な位置を占めています。



伝建地区内拠点施設の活用方針

・会　議：湯浅伝建地区保存協議会 施設活用検討部会
・日　時：平成２４年２月１０日（金）午後７時３０分～午後９時００分
・場　所：北の町老人憩の家
・対　象：施設活用検討部会委員及び各区長

施設活用検討部会の会議が開催され、拠点施設の活用方針について話し合いが行われました。今後の拠点施設の活用方針は下記のとおりです。

【甚風呂および北町ふれあいギャラリー】

来館者に大変好評を得ている甚風呂には引き続きスタッフを配置して公開を続けます。北町ふれあいギャラリーは住民の方々に楽しんでもらうほか、観光客が休憩できる場を提供するなど、従来どおりの活用をすすめていきます。※写真：現在展示中の湯浅町老人大学 切り絵展

甚風呂

北町ふれあいギャラリー

展示の様子

【伝建地区休憩所 岡正】

出店者を公募型プロポーザル方式で募り、面接審査等を行った上で最もふさわしいと思われる方に休憩所を貸し出します。※広報ゆあさや湯浅町ホームページなどを用いて周知します。

貸し出し条件などをご覧になりたい方は、湯浅町ホームページをご覧ください。

■湯浅町ホームページ：http//www.town.yuasa.wakayama.jp/

伝建地区休憩所 岡正

伝建地区休憩所 岡正（内部）

～公募型プロポーザル方式とは～

出店希望者を募り、岡正での取り組み方針などの提案を総合的に評価して出店者を特定する方法です。出店料などの競争入札ではなく、管理者としての適性・能力等を重視します。

今回、岡正を貸し出すにあたって、湯浅町の観光・物産等の情報発信や、北の町老人憩の家の清掃などの条件を附しています。

【北の町老人憩の家】

憩の家、災害時一時避難場所としての機能は維持しつつ、１階をパネル展示など、伝建地区を訪れる方に対して湯浅町の歴史文化を発信する観光拠点施設として活用します。
※開閉は引き続き地元の方にお願いし、清掃等の日常管理は、岡正出店者に依頼します。

北の町老人憩の家

北の町老人憩の家（内部）

スペイン・ガリシア州の訪問団来町

平成２４年１月１６日（月）に和歌山県の世界文化遺産である「熊野古道」と姉妹道関係にある「サンティアゴの道」を有するガリシア州から訪問団が来町しました。一行は、熊野古道を散策した後、伝建地区に入り歴史的な町並みや醤油の醸造過程などを視察しました。「日本の歴史ある建物は美しい」、「醤油醸造を見学できるなんて思わなかった。日本に来てよかった」などの声が上がっていました。

湯浅小学校３年生の社会見学 in 甚風呂

平成２４年１月２０日（金）と２４日（火）の２日間、湯浅小学校３年生７２名が甚風呂に社会見学に来ました。社会科学習「今にのこる昔とくらしのうつりかわり」において、昔の道具や生活用品などについて学び、当時の人々の生活様式を考えることを目的としたもので、生徒たちは、家では見たことのない古民具に興味津々でした。生徒たちの学習以外にも外国人や他地区からの視察研修の場として、湯浅町は様々なところから注目されており、とてもうれしく思います。